HEAVY

取り扱い説明書

（株）アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

＊ この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

Introduction

Empress Effects の Heavy はワイドレンジなバリエーションを持つハイゲイン歪ペダルです。ザクザクしたディストーションサウンドから 1980 年代のメタルサウンド、現代的なダウンチューニングの攻撃的なヘビィサウンドまで、ハイゲイン・ディストーションのすべてを表現するプロフェッショナル・ツールです。 荒々しいヘビィサウンドを追求しながらも、Empress Effects ならではの高品位設計は健在。アンサンブルの中でも際立つ、高らかに歌うようなハイエンドなサウンドが魅力です。

2 チャンネルの独立構成を採用、両チャンネルは同じトーンに設計されていますが、"heavier"チャンネルの方が"heavy"チャンネルよりハイゲインな設定が可能です。あえてボイシングを似通わせて片方のチャンネルをソロギターのためのブースターとして使用したり、「Mid Range Control」で両チャンネルのボイシングに変化を付けて異なるチャンネル・サウンドを演出したり、バリエーション豊かな」サウンドメイクを可能にしています。また 地を這うような「低域」専用に設計された「Weight」コントロールは歪みペダルの新境地を開きます。低域をタイトでビッグボトムなサウンドに仕上げら れる秘密兵器です。さらに両チャンネル共通の Hi/Lo の EQ セクションで最終出力のファインチューニングを行うことができます。ご使用のアンプやキャビネットに最適な トーンを与えることができるため、ヘビィなハイゲインサウンドのサウンドシェイプを完璧にコントロールすることが可能になります。また「ナチュラル」または「アグレッシブ」を選択できる優れたノイズゲート効果をビルトイン。強烈なハイゲイントーンであっても信じられないほど静かなオペレーションを可能にしています。

Now go forth and riff.¥m/-

Cody Gilchrist

Lead Designer

Features

■ オール・アナログのシグナルパス

■スーパー・ハイゲイン

■低域のキャラクターを変化させる Weight コントロール

■ Mid 周波数セレクト式の 3 バンド EQ

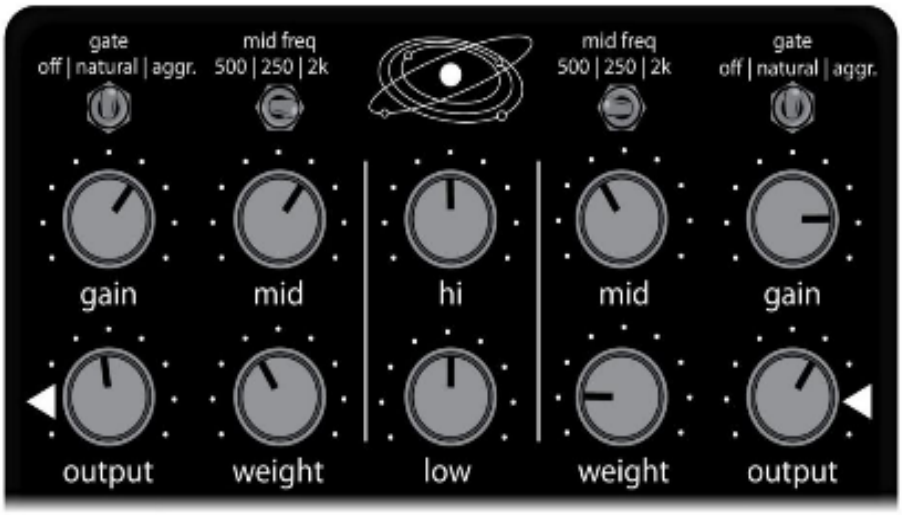
■デュアル・チャンネル設計

■ノイズゲート（natural または aggressive セッティング）

■トゥルーバイパス設計

Quick Start

サンプル・セッティング



上記イラストのサンプル・セッティングでは、「heavy」ポジションを「太くパンチ感のあるサウンド」に、「heavier」ポジションを「タイトで荒々しいサウンド」に設定しています。Heavy のフットスイッチは heavy 側のフットスイッチを踏むと heavy セクションが有効に、heavier 側のフットスイッチを踏むとheavier セクションが有効になります。また現在アクティブなチャンネルのフットスイッチをもう一度踏むとバイパスになります。

Controls at a Glance

Power

9V～18V DC 電源（センターマイナス）で動作します。200mA 以上の AC アダプターでご使用ください。

heavy / heavier

2 つのフットスイッチは踏むたびに両セクションの間を切り替えます。片方のセクションが選択されている時にもう一度そのセクションのフットスイッチを踏むとバイパスになります。LED の点灯で現在アクティブになっているチャンネルを確認することができます。LED が点灯していない状態でバイパスです。

mid freq

「mid」EQ コントロールの中心周波数を 500Hz、250Hz、2kHz の 3 タイプから選択することができます。12 時ポジションでニュートラル（ブースト＆カット 0dB）、右側回しきりでブースト+10dB、左側回しきりでカット−10dB となります。

gain

各チャンネルのゲイン（歪量）をコントロールします。"heavier"チャンネルの方が"heavy"チャンネルよりハイゲインな設定が可能になっています。

weight

低域のサウンドキャラクターを変化させられます。Weight を低めに設定するとミュートしたリフなどに最適なタイトなベースサウンドになります。また高めの設定にするとボトムエンドの量感を大きくした雄大なローエンドが得られるようになります。Weight コントロールは単純な低域のイコライジングとは異なり、サウンドの芯となるおいしいローエンドだけをコントロールできるので、マスターセクションにある Low EQ と絡めて使用することで、より緻密な低域のコントロールが可能になります。ハイゲインディストーションの肝ともいえる「ヘビィな低域」が正に自由自在に操れるようになる新感覚のコントロールです。

gate

ノイズゲートです。演奏のサイレンスを感知し出力をミュートします。

natural

なだらかなスロープでノイズゲートをかけるのでとても自然なサウンドになります。

aggr

ノイズゲートが通常よりも強くかかるモードです。常にアグレッシブに演奏するようなプレイスタイルの場合にご使用ください。強弱を表現するような演奏スタイルでは natural モードを選択ください。

trim

ペダルの側面にあるトリムポットでノイズゲートの感度を微調整することが可能です。

hi

出力セクションへ送られる信号の高域をイコライジングします。3kHz 周辺からの緩やかなシェルフカーブのイコライザーで、12 時ポジションでニュートラル（ブースト＆カット 0dB）、右側回しきりでブースト+10dB、左側回しきりでカット−10dB となります。

low

出力セクションへ送られる信号の低域をイコライジングします。80Hz 周辺からの緩やかなシェルフカーブのイコライザーで、12 時ポジションでニュートラル（ブースト＆カット 0dB）、右側回しきりでブースト+10dB、左側回しきりでカット−10dB となります。

これらの hi と low イコライザーは最終出力セクションへのイコライジングで、heavy と heavier セクションの両方のチャンネルに効きます。

Noise Gate

ノイズゲートについて

Heavy は入力信号（歪回路の前の信号）にトリガーする高性能なノイズゲートを標準で装備しています。
結果ノイズゲートはとても反応が良くダイナミックに効きます。ロングサスティンのノートを演奏しているとき ring out into フィードバック、またはクイックストップのタイトなゲートサウンドが必要なとき、ノイズゲートはそれに応じて反応します。Natural モードではノイズゲートの感度は高く設定され極めて低い入力レベルでゲートが開きます。この Natural モードはリードやリズムギターなどどんなプレイスタイルにも良く合います。Aggressive モードはノイズゲートが強くかかるモードで、アグレッシブで強弱のあまりないサウンドスタイルに適しています。ノイズゲートは各チャンネルごとに設定することができます。またペダルのサイドに用意された Trim ポットを調整することでノイズゲートのスレッショルドを微調整することができるので、より細かなプレイスタイルに合わせた設定が可能になります。工場の設定では矢印が上側を向く真ん中のポジションに設定されています。精密マイナスドライバーで時計回りに回すとスレッショルド値を低く、反時計回りでスレッショルドを高く設定できます。

Specifications

Input Impedance:

1MΩ

Output Impedance

510Ω

Input Voltage

9VDC-18VDC

Required Current

200mA

Power Input Connector:

2.1mm Barrel Connector

Size & Weight

H60mm × D90mm × W94mm

0.5kg